

ジョーカーを除く1組のトランプ52枚から、1枚ずつカードを無作為に引き、引いたカードは戻さない。ただし、エースA、ジャックJ、クイーンQ、キングKはそれぞれ数字の1, 11, 12, 13とみなす。 $n$ 番目( $n=1, 2$ )に引いたカードの数字を $a_n$ とし、そのカードのマークがスペードまたはクロウバーのとき $r_n = a_n$ 、ハートまたはダイヤのとき $r_n = -a_n$ とする。このとき、 $z = r_1 + r_2i$ とする(ただし $i$ は虚数単位である)。例えば、1枚目がハートの8、2枚目がクロウバーの5の場合、 $z = -8 + 5i$ となる。

- (1) 引いた2枚のカードが同じマークである確率を求めよ。
- (2)  $z = 1 + i$ となる確率および $z = 2 + i$ となる確率を求めよ。
- (3)  $|z| \leq 5$ となる確率を求めよ。
- (4)  $z$ がとり得る値全体の集合を $A$ とする。このとき $(1+i)z$ が集合 $A$ に属する確率を求めよ。

(26 札幌医大 3)

【答】

- (1)  $\frac{4}{17}$
- (2)  $\frac{1}{1326}, \frac{1}{663}$
- (3)  $\frac{19}{221}$
- (4)  $\frac{96}{221}$

【解答】

- (1) 1組のトランプ52枚から、カードを順に2枚引く(引いたカードは戻さずに2枚引く)とき、カードの引き方は

$$52 \cdot 51 \text{ (通り)}$$

あり、これらの起こり方は同様に確からしい。

このうち、引いた2枚のカードが同じマークであるのは

1枚目はどのカードを引いてもよく、

2枚目は1枚目のカードと同じマークのカードを引く

ときである。この確率は

$$\frac{52 \cdot 12}{52 \cdot 51} = \frac{4}{17} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。

- (2)  $z = 1 + i$ となるのは

スペードのエースAとクロウバーのエースAを引く

ときである。引く順序も考えると、この確率は

$$\frac{2 \cdot 1}{52 \cdot 51} = \frac{1}{1326} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。

$z = 2 + i$ となるのは

1枚目はスペードまたはクロウバーの数字2を引き、

2枚目はスペードまたはクロウバーのエースAを引く

ときである。この確率は

$$\frac{2 \cdot 2}{52 \cdot 51} = \frac{1}{663} \quad \dots\dots(\text{答})$$

である。

- (3)  $|z| \leq 5$  となる  $z = r_1 + r_2i$  ( $r_n$  ( $n = 1, 2$ ) は  $-13 \leq r_n \leq 13$  を満たす 0 でない整数) は右図の黒丸 60 個である. このうち

$$(r_1, r_2) = (\pm 1, \pm 1), (\pm 2, \pm 2), (\pm 3, \pm 3)$$

(すべて複号同順)

の 6 点についてはどの点になる確率も  $\frac{1}{1326}$  であり, 他の 54 個の点についてはどの点になる確率も  $\frac{1}{663}$  である.

よって, 求める確率は

$$6 \cdot \frac{1}{1326} + 54 \cdot \frac{1}{663} = \frac{1}{221} + \frac{18}{221} = \frac{19}{221}$$

.....(答)

である.

- (4)  $A$  は  $z$  がとり得る値全体の集合であり

$$A = \{r_1 + r_2i \mid r_n \text{ ( $n = 1, 2$ ) は } -13 \leq r_n \leq 13 \text{ を満たす } 0 \text{ でない整数}\}$$

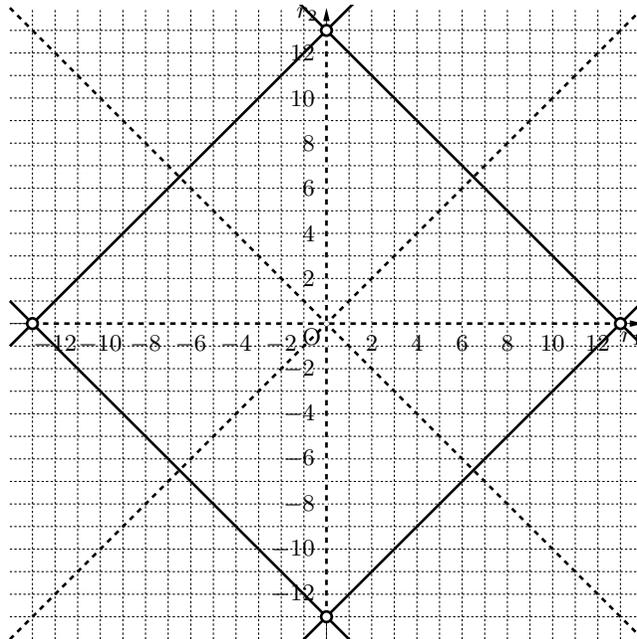
である.

$$(1+i)z = (1+i)(r_1 + r_2i) = (r_1 - r_2) + (r_1 + r_2)i$$

であるから,  $(1+i)z$  が集合  $A$  に属する条件は

$$\begin{cases} -13 \leq r_1 - r_2 \leq 13 \text{ かつ } r_1 - r_2 \neq 0 \\ -13 \leq r_1 + r_2 \leq 13 \text{ かつ } r_1 + r_2 \neq 0 \end{cases}$$

$$\Leftrightarrow \begin{cases} r_1 - 13 \leq r_2 \leq r_1 + 13 \text{ かつ } r_2 \neq r_1 \\ -r_1 - 13 \leq r_2 \leq -r_1 + 13 \text{ かつ } r_2 \neq -r_1 \end{cases}$$



であり, この条件を満たす整数の組  $(r_1, r_2)$  は

$$(12 + 11 + \cdots + 2 + 1) \times 4 - 6 \times 4 = \frac{12 \cdot 13}{2} \times 4 - 6 \times 4 = (78 - 6) \times 4 = 288 \text{ (個)}$$

ある. どの点になる確率も  $\frac{1}{663}$  であるから, 求める確率は

$$288 \cdot \frac{1}{663} = \frac{96}{221}$$

.....(答)

である.